

おはようございます。

今大会もヨネックス株式会社、能登町教育委員会、北國新聞社、ショーワコーポレーション、ナガセケンコー他のご協力のもと22回を数えることになりました。北信越各県より遠いところをご参加いただき感謝申し上げます。

東日本大震災というこれまでにない大きな災害に遭いました。この大震災について少しだけ話をさせていただきます。

東日本大震災では、皆さんも知っていると思いますが、死者・行方不明者あわせて27,000人以上という多くの犠牲者を出しました。

「これから」という子どもたちが自分の将来を生きられなくなったということ、これはとても悲しいことです。中でも宮城県石巻市の大川小学校の事例は悲惨でした。全校児童108人のうち74人が死んだり、行方不明になったりしています。先生も13人いたのですが、無事だったのは学校にいた先生が1人と出張などで学校にいなかった先生2人だけでした。

それから、福島県の双葉町ですが、原子力発電所のある町です。ここに双葉中学校がありますが、あの津波で発電所は大変なことになっています、町にはだれもいません。住めないのです。

この双葉中学校のソフトテニス部は、特に女子が強い学校です。昨年も全国大会で上位に入りましたし、今年の全国都道府県大会の選抜メンバーにも入っています。その双葉中学校の子どもたちは、自分の町を離れて埼玉県などに避難しています。好きなテニスを自由にできる状況ではありません。

皆さん。わたしは皆さんにお願いがあります。とても悲しく、不幸な災害でしたが、決して人のことと思わないでほしいのです。

生きたくても生きられない命があります。でも、皆さんには生きられる命があります。やりたいことがあってもできない人たちがいます。でも、皆さんにはやりたいことができる環境と力があります。

どうか、そのことをよくわかって自分を大切に、周りのみんなを大切にして、しっかり生きてほしいと思います。できることなら、やらなければいけないことを一生懸命やってほしいと思います。

そして、東北や関東の犠牲になった人たち、被災した人たち、また、同じテニスに取り組んでいる仲間思いを寄せて、今日、明日、頑張ることはもちろん、東北・関東の人たちに皆さんの心を届けてほしいと思います。